

# 町誌刊行にあたって

ふるさととは近きにありて思うもの、そしてたのしくうたうもの――

いずれの時代の人々も豊かでしあわせな家づくり、村づくりを神に祈り仏に願い必死で生きぬき死んでいったと思うのです。それら先祖の念のようなものが集落に耕地に河川に溜池に道路に神社仏閣に更には数々の文化遺産に民俗芸能に日常生活慣習等あらゆるものに生き続けています。数千年にわたる先祖の息ぶきの感じられないもの、歴史的存在物でないものは何一つとしてありません。私達一人一人も歴史的な存在であります。

私共は先祖の歩み刻んできた歴史と伝統のなかに成功の経験、失敗の経験を学んで成長してきました。そしてより正しい道を歩みたい、よりよいふるさとづくり努めたいとの願いをもって生きています。

さてわが大西町は昭和三十年大井村小西村合併町制施行以来二十年その間町内工業の発展と共に町勢は飛躍的に伸展してきました。そして昨年三月庁舎、公民館の落成と合併二十周年の記念式が盛大に挙行されました。

この記念すべき年に大西町発展の歴史、先祖の歩んだ道をふりかえり、その歴史とあゆみの上にしつかりと足をふまえ未来に向って一層たしかなあゆみを続け輝やかしい躍進を願い町誌編纂を企画しました。

これに対して町理事者、町議会から格別の御支援御協力を賜り町誌編纂委員会を発足させ編纂作業を進めて来ました。その間専門委員、専門協力委員各位の大変な御努力によりましてここに待望久しかった町誌の発刊をみるに至りました。誠に何ものにもかえがたい喜びを感じます。

この町誌が町民の皆さん方に大事に読まれ先祖代々生きて来たふるさと大西、すべてを托して来たふるさと大西の姿を一層深く理解して頂いて豊かで住みよい大西町、住みなくなる大西町づくりの一助になれば本当にありがたいと思います。

大西町教育長 近藤 福太郎

口絵写真 (全景・旧役場・庁舎公民館・ドック・獅子舞・みかん園)

第二編 大西町の歴史 (明治維新まで) ..... 一七  
第一章 大西町のあけぼの ..... 一七

町地 図 ..... 一七  
序文 (町長・議長・前議長・教育長) ..... 一七

## 目次

第一編 大西町の概観 ..... 一

第二章 飛鳥・奈良時代 (大井郷のできた頃) ..... 四三

第一章 大西町の概観 ..... 一

一、郡県制度 ..... 四三

第一節 沿革の概要 ..... 一

二、税制と条里制 ..... 五二

第二節 位置 ..... 一

第三章 平安時代 (菅公の来られた伝説の頃) ..... 五二

第三節 面積・人口・戸数 ..... 二

一、荘園 ..... 五六

第二章 大西町の自然 ..... 五

二、海賊の出現 ..... 六〇

第一節 地勢 ..... 五

三、藤原純友の乱と越智氏 ..... 六二

第二節 地質 ..... 七

四、源氏と伊予 ..... 六五

第三節 気象 ..... 九

第四章 鎌倉時代 (重茂山城のできた頃) ..... 七〇

第四節 潮汐 ..... 一

一、守護・地頭の設置と河野氏 ..... 七〇

第五節 自然災害 ..... 二

二、承久の変と河野氏の没落……………	七一
三、元寇と河野氏の復興……………	七三
四、石井浜の戦・星ノ岡の戦と鎌倉幕府の滅亡……………	七五
第五章 南北朝時代(尊真親王の来られた頃)……………	七九
一、建武中興の失敗・南北朝の両立と伊予七九……………	八〇
二、尊真親王の伊予下向……………	八〇
三、伊予の形勢……………	八五
第六章 室町・戦国・安土・桃山時代……………	八八
(重茂山城で戦のあった頃)……………	八八
一、戦国時代の伊予……………	八八
二、河野氏の滅亡……………	九二
三、この時代の大井郷の記録……………	九三
第七章 藩政時代(庄屋が村を治めていた頃)……………	九九
第一節 伊予八藩の成立……………	九九
一、伊予八藩……………	九九
二、松山藩と今治藩の成立……………	一〇〇
第二節 松山藩の政治……………	一〇四

一、税制……………	一〇四
(一)太閤検地と別符村検地帳……………	一〇四
(二)松山藩の検地と村高……………	一〇八
(三)徴税と農民の生活……………	一〇九
(四)地坪(じならし)……………	一一五
(五)新田開発と用水池の築造……………	一一六
(付)検地帳村別表(其の一、其の二)……………	一二〇
二、村の組織……………	一三八
三、治安・刑罰……………	一四四
(一)制札・高札……………	一四五
(二)八木忠左衛門の越訴事件……………	一四七
(三)波止浜塩田騒動……………	一四八
(四)農民の取締り(脇庄屋の被免)……………	一五〇
四、宗門改めとかくれキリシタン……………	一五三
五、波止浜塩田の開発と新町村庄屋井手家……………	一五六
六、享保の大飢饉と甘藷……………	一五八
第三節 参勤交代……………	一六〇
第四節 伊能忠敬の伊予測量と山之内庄屋大河内……………	一六〇

庄兵衛……………	一六一
第五節 旅行と行路病死者……………	一六二

### 第三編 大西町の誕生と発展

(明治から現在まで)……………	一六五
第一章 行政・財政……………	一六五
第一節 維新前後……………	一六五
一、大藩の動き……………	一六六
二、王政復古……………	一六六
三、伊予諸藩の動き……………	一六七
四、明治の新政……………	一七一
五、藩から県へ……………	一七五
六、県の統廃合……………	一七九
七、愛媛県の誕生……………	一八〇
八、新政策と住民の反発……………	一八一
九、香川県との合併……………	一八二
三、大区・小区制の実施……………	一八三
二、地租の改正・地券の発行……………	一八八

三、町村会の開設……………	一九二
三、大区会の開設より県会へ……………	一九五
四、行政区画の変遷……………	一九七
五、市制及び町村制の実施……………	一九八
二六、町村合併促進法……………	一九九
第二節 大井村・小西村の成立……………	二〇三
一、大井村……………	二〇三
二、小西村……………	二一四
(付)村長、助役、収入役、村会議員名簿……………	二二二
第三節 税制の確立……………	二二二
財政の成長と変遷……………	二二四
(付)大井村・小西村歳入歳出決算表M33・S29……………	二二六
第四節 大西町の発足……………	二三八
一、合併きまる……………	二三八
二、合併後二十一年間の業績……………	二四八
(付)町各種役職員名簿……………	二五八
大西町年度別歳入歳出決算状況……………	二七二

第二章 産業・経済……………二七七

第一節 農業……………二七七

本町農業の特色……………二七七

一、明治時代……………二七九

(一)地租改正……………二七九

(二)改租の影響……………二八一

(三)増産と戦争……………二八二

(四)日露大戦と農業……………二八三

二、大正時代……………二八四

(一)農村恐慌……………二八四

(二)小作争議……………二八四

(三)自作農創設と更生……………二八五

(四)農業用水……………二八六

三、明治大正期の農法……………二八八

(一)耕地の改良……………二八八

(二)米麦の品種……………二八九

(三)苗代と正条植……………二九〇

(四)農具……………二九〇

(五)害虫……………二九一

(六)肥料……………二九二

四、昭和前期(第二次大戦まで)……………二九三

(一)昭和の恐慌……………二九三

(二)戦時代の統制……………二九三

(三)戦時下の耕地改良事業……………二九四

(四)学童の増産……………二九五

五、昭和中期(第二次大戦後)……………二九六

(一)戦後の国情……………二九六

(二)農地解放……………二九七

(三)農地の解放状況……………二九九

六、昭和後期(現代)……………三〇一

(一)農業振興……………三〇一

(二)農地解放の影響……………三〇二

(三)農地報償……………三〇四

(四)農地の転用……………三〇四

(五)農地溜池の災害復旧……………三〇五

(六)昭和の肥培管理……………三〇八

(七)農作業……………三〇八

(八)蔬菜……………三〇九

七、農家の副業……………三一〇

(一)みかん栽培……………三一〇

(二)梨……………三一一

(三)養蚕……………三一一

(四)葉たばこ……………三一一

(五)ゼラニウム……………三一一

(六)家畜……………三一九

(七)緬羊飼育と羊毛加工……………三二〇

八、農業協同組合……………三二二

(一)沿革……………三二二

(二)大井農協……………三二三

(三)小西農協……………三二五

九、明日の農業……………三二七

(一)農業のあゆみ……………三二七

(二)魅力ある農業……………三二八

(三)明日の農業……………三二九

第二節 林業……………三三〇

第三節 水産業……………三三三

一、漁業……………三三三

二、塩田……………三四〇

第四節 商業……………三四二

一、大西町商業の変遷……………三四二

第五節 工業……………三四四

一、製瓦業……………三四四

二、農具唐箕及び万石とおしの製造……………三四五

三、綿織物業……………三四七

四、醸造業……………三四八

五、精米、製粉業……………三五〇

六、かんづめ・澱粉の製造……………三五〇

七、タオル工業……………三五一

八、造船業……………三五五

(一)来島どつく……………三五五

(二)松山刑務所大井造船作業場……………三六〇

(三)工業団地……………三六三

第六節 大西町商工会	三六四
第三章 社会福祉	三六六
第一節 戦前の社会福祉	三六六
第二節 戦後の社会福祉	三六七
一、民生委員	三六七
二、生活保護	三六八
三、児童福祉	三六八
四、母子福祉	三六八
五、老人福祉	三六九
六、身心障害者福祉	三七〇
七、国民年金	三七一
八、被災者に対する福祉	三七二
九、共同募金	三七二
二〇、住宅問題	三七二
二一、交通災害共済制度	三七三
第四章 保健・衛生	三七四
第一節 明治・大正時代	三七四
第二節 昭和時代	三七七

一、終戦まで	三七七
二、戦後	三七八
(一)国民健康保険	三七八
(二)伝染病対策	三八〇
(三)結核対策	三八二
(四)水道	三八三
(五)ごみ処理	三八六
(六)し尿処理	三八七
第五章 警察・消防・防災	三八九
第一節 警察	三八九
第二節 消防・防災	三九〇
第六章 教育	三九四
第一節 寺子屋	三九四
一、藩政時代の教育	三九四
二、寺子屋の教育	三九五
三、明治維新後の寺子屋	三九六
第二節 義務教育の発展	三九六
一、学制と学校の創設	三九六

(一)「学制」の頒布	三九七
(二)大井、富山、猶興、習静学校の創設	三九八
(三)児童の就学状況と進級試験	三九八
二、大井、小西尋常小学校の設立	三九九
三、三和高等小学校の設立	四〇四
四、大井、小西尋常高等小学校の発足	四〇八
五、大正時代の小学校	四一一
六、戦時下の教育、国民学校	四一三
(一)国民学校	四一三
(二)戦時版教科書	四一五
(三)不自由な学校生活	四一六
(四)学童の勤労奉仕	四一七
七、戦後の教育	四一八
(一)終戦直後の教育	四一八
(二)六・三・三・四制教育制度	四一八
(三)中学校の建設	四二〇
(四)中学校の統合、大西中学校の発足	四二三
(五)小学校の統合、大西小学校の発足	四二五

(六)学校教育のための施設	四三〇
1 学校給食センター	四三〇
2 学校水泳プール	四三二
第三節 中等教育	四三三
一、「学制」と中等教育	四三三
二、今治中学校(今治西高の前身)	四三三
三、越智中学校(今治南高の前身)	四三四
四、今治高等女学校(今治北校の前身)	四三四
五、今治技芸女学校(明德高の前身)	四三五
六、今治精華高等女学校(精華高の前身)	四三五
七、今治工業学校(今治工高の前身)	四三五
八、戦時中の学徒動員	四三五
九、新制度の高等学校	四三六
第四節 青年教育	四四〇
一、藩政時代の青年の活動	四四〇
二、青年会の設立と夜学会	四四〇
三、大井、小西農業補習学校の開設	四四一
四、大井、小西青年会の発足	四四二

- 五、農業補習学校と青年訓練所……………四四四
- 六、青年学校……………四四五
- 七、戦後の青年団活動……………四四八
- 第五節 就学前教育（保育所と幼稚園）……………四五二
- 第六節 社会教育……………四五二
  - 一、社会教育関係の機構と施設……………四五二
  - 二、社会教育活動……………四五四
    - (一)町教育委員会の社会教育活動……………四五四
    - (二)婦人会活動……………四五七
    - (三)青年団活動（第四節青年教育参照）……………四五九
    - (四)PTA活動……………四六〇
    - (五)愛護班活動……………四六一
    - (六)大西町緑の少年団……………四六二
- 第七節 教育委員会……………四六三
  - 一、公選制の教育委員会……………四六三
  - 二、任命制の教育委員会……………四六四
- 第七章 交通・運輸・通信……………四六八
- 第一節 道路の発達……………四六八

- 一、藩政時代まで……………四六八
- 二、明治以後……………四六九
- 第二節 交通機関の発達……………四七一
- 第三節 鉄道……………四七三
  - 一、国鉄子讚線の開通、伊予大井駅……………四七三
  - 二、九王仮駅……………四七四
  - 三、蒸気機関車消える。特急「しおかぜ」走る……………四七四
  - 四、大西駅が委託駅となる……………四七五
- 第四節 バス路線……………四七七
- 第五節 海運……………四七九
- 第六節 交通事故……………四八〇
- 第七節 郵便……………四八一
  - 一、郵便の歴史……………四八一
  - 二、大井（大西）郵便局……………四八二
- 第八節 電報・電話……………三八三
  - 一、電報……………四八三
  - 二、電話……………四八四

- 三、有線放送電話……………四八五
- 四、大河内山電波中継所……………四八六
- 第八章 兵事……………四八七
- 第一節 徴兵制……………四八七
- 第二節 おもな対外戦争……………四八八
- 第三節 戦死者芳名簿……………四九四

- 第二節 年中行事……………五五三
- 第三節 民謡……………五六八
- 第四節 伝説・民話……………五七五
  - 一、地名に関するもの……………五七五
  - 二、歴史に関するもの……………五七九
  - (一)尊真親王（文化財ならびに南北朝の頃参照）……………五七九
  - (二)脇屋義助の墓……………五七九
  - (三)重茂山の落城・衣笠弁天、上の城……………五八〇
  - (四)ひとくろだけ（人黒塚）……………五八二
  - (五)伊予風土記の熊野峯……………五八二

**第四編 宗教・民俗・文化遺産**

- 第一章 宗教……………五一九
- 第一節 宗教のうつりかわり……………五一九
- 第二節 大西町の神社……………五二四
- 第三節 大西町の寺院・教会……………五三四
- 第二章 民俗……………五四五
- 第一節 風俗・習慣……………五四五
- 一、衣生活……………五四五
- 二、食生活……………五四六
- 三、住居……………五四七
- 四、その他の風習の変遷……………五五〇

- 第三章 文化財……………五八七
- 第一節 文化財の保護……………五八七
- 第二節 大西町指定文化財……………五八八
- 第三節 観光……………六〇二
- 第四章 郷土人物小伝……………六〇三
- 一、山本九郎兵衛……………六〇三



二、松垣五右衛門……………	六〇四
三、越智岩太郎……………	六〇六
四、山本雲溪……………	六〇八
五、矢野七三郎……………	六〇九
六、山本常太郎……………	六一一
七、村瀬武男……………	六一三
八、越智 茂……………	六一五
九、神野信一……………	六一七
三〇、住村博士……………	六一八
年 表……………	六二一
大西町今昔いろはかるた……………	六三三

町内地名の呼び方

おもな参考文献

編集後記

あとがき

大西町誌編纂委員会名簿

# 第一編 大西町の概観

## 第一章 大西町の概観

### 第一節 沿革の概要

大西町は、地形と気候などの自然条件に恵まれ、古代より人が住みついて増加し部落を形成したことが推定され、いわゆる大和時代は怒麻国ぬまのくにの中心地として発展し、奈良時代からは野間郡のまのこほりに、藩政時代は松山藩に属し、野間郡の中心地として栄えた。

明治二十三年に町村制施行により、旧宮脇、大井浜、新町、紺原、九王の五ヶ村が合併して大井村となり、旧別府、星浦、脇、山之内の四ヶ村が合併して小西村が成立した。

大戦後、時勢の推移変遷により、昭和三十年三月、両村が合併して大西町となった。

### 第二節 位置 置

大西町は、四国の西北端高縄半島の北端にやや近い西側に位置し、西は斎灘いぢの灘に面し、また菊間町と接し、北は波方町に、東は今治市乃万地区に、南は玉川町に接している。

町役場の位置は、東経一三二度五五分四〇秒 北緯三四度〇三分二四秒。

愛媛県庁まで約三八km、 東隣する今治市役所まで約八km、 国都東京までは、直線距離約六五〇km、 国有鉄